

# 台湾視察調査報告

H26年7月22日（火） 13時40分～15時

## 2 エバーグリーン海運(株)

---

・昔は、日本で船をずっと作っていたが、韓国になった。しかし、韓国の船は品質はちょっと。品質はやはり三菱重工が良かったが、値段が高い。最近は円が安くなったが。

・来週、大阪のふ頭公社の社長が来る予定。10月1日以降、何が変わるのか。大阪ではエバーのターミナルで、神戸では上組のターミナル。大阪・神戸を合わせて20万TEUくらい。大阪は、神戸の2倍の量。大阪・神戸を合わせて600万TEUくらいですから、エバーは20万TEUだけです。神戸は、大きい船の入る港だから、もし、エバーがアジアからアメリカに行くサービスをやれば、神戸にまたチャンスが残っていると思う。

・知りたいことは、合併して何が変わるのか、が一番知りたいことです。

・神戸とアメリカの直行便がないのは、荷物がいいのではなく、台北・高雄でトランシップするからです。

・神戸から台北・高雄で一旦降ろしてトランジップするサービスしかないです。

・エバーのやり方は、アメリカに行くのが時間がかかる。輸出品を1回あけて、高雄・プサンで別の大きな船に変える。神戸でやっているのは、アジアの荷物しかない。

・神戸でのやり方は、今はアジアのサービスしかない。アジアのサービス、今は、アライアンスをやっている。ヤンミン、K-ライン、COSCO、ハンジン、みんな今、アライアンスをやっている。今、やっているのは、ヨーロッパに行くものばかり。アジアからアメリカに行く合併のサービスが今はまだあまりないが、どんどん、どんどんやる。今後、可能性はある。

・神戸の量は、今は大阪の半分しかい。上組さん、何度もやってきて、神戸にと言われた。阪神大震災までは、世界の港、3番目、4番目。震災以降は、なかなか戻らない。神戸のレベル、30・40番目くらい。

・でも、地震で、もちろん、心の傷は残っているけれども、他はインフラすべてが戻っている。なぜ、荷物が戻らないのか、我々船社もわからない。

・今は、船社、みんな赤字ですから、今回、合併して、何かいいインセンティブがあれば、チャンスになる。

・神戸・大阪からのコンセプトがまだわからないが、例えば、広島。

ここで、副社長が入室される。（林主席副社長、王本部長、 ）

・市議会の方が訪問され、心より感謝申し上げます。神戸港と大阪港が合併すると聞いて、エバー社は大変期待をしている。将来どうなるのか、楽しみにしている。

・神戸港をはじめ、荷物を扱っているが、合併によってどうなるのか、今後、有利な提案があることを期待している。

・池田) お忙しいところ、ありがとうございます。震災以降、神戸の港は荷物が減っている。10月1日神戸港が合併する。ふ頭会社の経営がひとつになる。

エバー) 合併以降はそれぞれの会社はどうなる？残る？

会社は新しくなるが、そのままそれぞれが残る形。国の施策で2つの港湾を重要港湾として位置づけた。

大阪と神戸、国の方針として？

これまで多数の小さな港に投資してきたが、二つの港、京浜と阪神に、国が重点的に投資をしようというものです。(パンフレットを渡す)

・われわれの港との契約は、どうなりますか？

・契約の手続き等はわからないが、経営がひとつになります。これから、国の予算で阪神港に予算がつけられていくことになると思います。

・大阪の荷物を神戸にという話ではなく、

・神戸に荷物を入れている。政策は変わらないが、皆さんは、議員さん。我々船会社はみんな赤字。要望を伝えてほしい。

・入港料などの減免の話は、今度、詳しく、担当者がきて説明する。今回は、要望や課題を調査にきている。

・大阪・神戸に入ると2回税金を取られている。

・それはおそらくなくなると思う。

・船が神戸によって、次に大阪に入ると、今は、とん税、水先案内など、2回入る。合併以降は、すべて1回に、例えば水先案内などは無理と思うが、とん税などの料金は1回になる？

・なると思います。(通訳さんがここで可能性だけですか？と聞いたので) 具体的には、言えないですが、そういうことをやっていく政策のはずなので、なると思います。

・両方に入る船、週に3隻もある。負担になるので、合併して考えてほしい。

・水先の費用も例えば半額にならない？

・今、入っているものについては詳しく聞いていないが、新規航路は減免のサービスがあることはいえるが、現在の航路へのサービス等については、合併の前なので、詳しいことは今、言えない。

・神戸港を使いたい気持ちは変わらない。

・今回、市の担当者は一緒に訪問したかったが、10月1日以降でないと会社ができないため。ぜひよろしくということだった。インセンティブについては、きてもらえるように頑張りたいと、市の担当者が言っているので、どうぞよろしく。大阪港と取引されているので、神戸が無理やり入るのは遠慮してきているということだった。

・最初の話に戻るが、神戸からアメリカに直接荷物を持っていく件について、もう少し詳しくお話を聞かせてもらいたい。

・アメリカのサービスを行うかどうかを決めるのは、エバーではない。荷物があればやらないわけがない。荷物があれば可能性はある。

・荷物といえば、例えば東海岸であれば、神戸とのやりとりのもの？

・両方です。アメリカの関係者、アメリカから輸出する荷物はあまりいいものではないから。。スクラップが多い。スクラップはあまり船社が喜ばない。いいものではない。料金をあまり取れない船が傷むので、船社はあまりやりたがらない。

・本日、わざわざ、お越しいただき、ありがとうございます。皆さんは、市民の代表ですから、持って帰ってお伝えいただきたい。また、いろいろな方との連携もあるでしょうから、荷物を運ぶ際はエバー海運をどうぞよろしく願いいたします。ご紹介いただけたら、特別会計も致しますので。

・互いに連絡しあいましょう。

・神戸港としてもう少し改善点があれば？

・一番大切なことは、荷物の量です。荷物があれば利用する。例えばかつて新潟の知事さんが来られたが、新潟にはあまり荷物が少ないので、残念ながら利用することがなかった。量は大切。

・もうひとつ、入港料金が安いこと。例えば、小さい船、1300 TEU くらいの船、2万トン以下の船

の入港料金は東南アジアの4倍くらいの料金になる。もし、この2点をクリアできるなら、日本の港を利用するでしょう。できないなら、新しい船を造って新しいサービスを作るとき、考えるでしょう。

・具体的な案が出たら、また、こちらにお越しください。